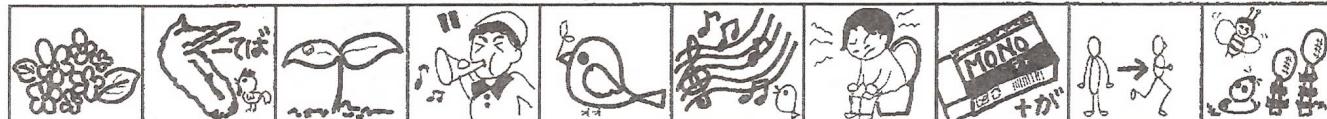




## やまもも

「やまもも」は年に2回、少年自然の家周辺の自然情報を届けする情報誌です。ぜひお読みいただき、お子様にお伝えいただければと思います。お子様が少しでも自然に興味を持っていただけは幸いです。

花がさき、芽ぶき、鳥がさえずり、生きものがうきだす春。



さあ、一步ふみだし自然たいけんしませんか。



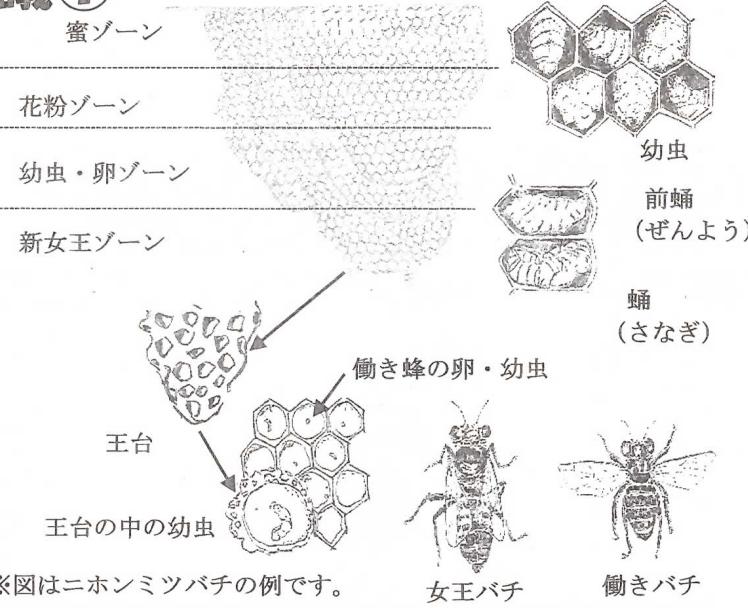
## ミツバチの生活と不思議①

### ミツバチがいなくなってしまった！

最近、花の前でミツバチと会うことは、ほとんどありません。今、日本だけでなく、世界中でミツバチがいなくなっています。ミツバチは、我々に栄養価の高いハチミツを提供してくれるだけでなく、果実や野菜の花の受粉をしてくれる大切なパートナーでした。もしこのまま、ミツバチがいなくなれば、農業分野での大きな打撃は免れません。また、その原因もまだ解明されていません。

### ミツバチの巣と生活

巣の中では、何万匹ものミツバチが幼虫の世話係、清掃係、女王の世話係、蜜集め係、蜜や花粉の貯蔵係など分業で働いています。その中のほとんどはメスの働きバチで、巣の中の1匹しかいない女王の娘たちです。女王は世話係から蜜や花粉のほか、それらを働きバチの体を通して分泌されるローヤルゼリーが与えられ、一生卵を産み続けます。

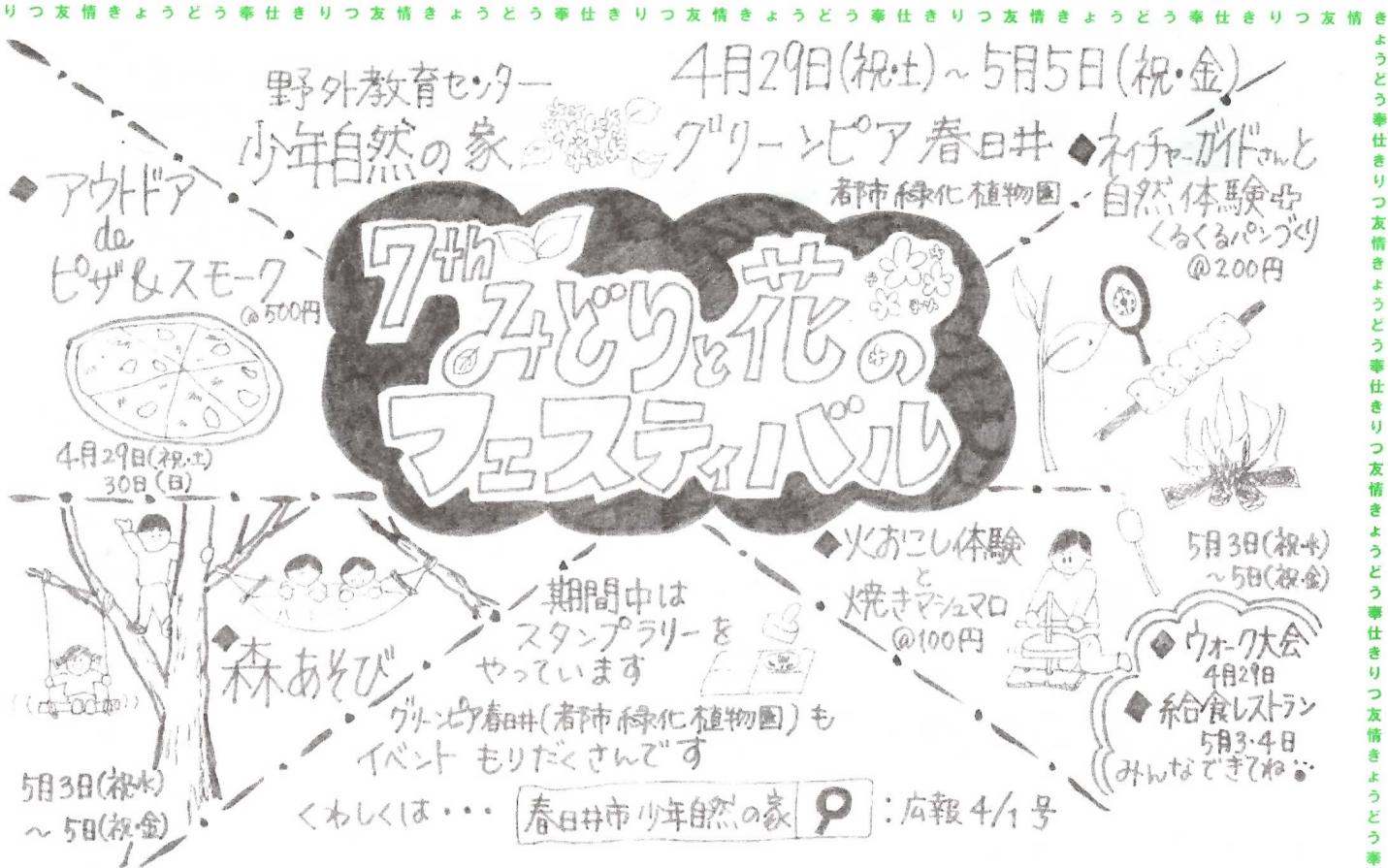


### 新女王について

王台と呼ばれる部屋でローヤルゼリーが与えられた幼虫は、体の大きな次の世代の女王へと成長します。新女王が誕生するころ、未受精の卵から育った幼虫がオスバチとなります。オスバチたちは女王とともに巣の外へ結婚旅行に飛び立ち、他の巣の女王と交尾をします。女王は、おなかに精子を蓄えて、また巣に戻ります。新たな女王は複数誕生しても、残るのは1匹だけで、古い女王は働きバチを半数引き連れ、巣を出て新天地で新たな巣を作ります。これが分蜂（巣別れ）です。

養蜂で使われるミツバチは、外国から持ち込まれたセイヨウミツバチで、蜜集めによい働きをする家畜ですが、日本には日本の自然に適応した少し小柄な野生種ニホンミツバチがいます。

みんなで緑を育て 自然を守ろう



## 平成29年度“楽しいもよおしもの”のご案内 はじまりの春☆ スタートダッシュは自然の家から！！

### ◆わくわく自然ランド【今が一番新緑】



山菜天ぷら  
大好評

500円

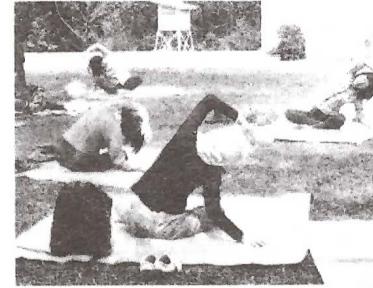
とき 4/16(日)

対象 3歳以上 小学3年生以下は保護者同伴

広報 3/15号

定員 60人

### ◆山ガール・山女子入門 春



500円

とき 4/11(火)

対象 一般

広報 3/15号

定員 15人

### ◆里山体験【田んぼと森の学校】通年9回開催



26,000円

(全9回分の宿泊費、食事代、保険代等すべて含みます)

とき 4/22(土)

~4/23(日)他

対象 小学4~6年生

広報 3/15号

定員 40人

### ◆あそびむしくらぶ 通年10回開催



2,500円

とき 5/9(火)他

対象 2、3歳児と保護者

広報 4/15号

定員 40人

その他

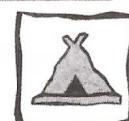
- 初夏のファミリーキャンプ 5月
- 初めて挑戦アウトドア 6・9・11月
- 野外活動・自然体験指導者講座 5・6・9月

- 自然学校【カヌーに乗って湿地探検】6月
  - 築水池カヌー体験 7月
- ※詳しくは広報春日井・ホームページ等をご覧ください。

New

### 新企画!! かすがい防災サバイバルキャンプ 8月22・23日

このキャンプの目的は「災害から子どもたちの命を守ること」です。火を起こして暖を取る、お米を炊く、テントを張り寒さをしのぐなど、アウトドアでは当たり前の事が被災時に大いに役立ちます。1泊2日のキャンプをしながら災害時に生き抜く力を身につけます。



発行 春日井市野外教育センター 少年自然の家

発行日 平成29年3月10日

問い合わせ 番0568-92-8211

ホームページ <http://www.city.kasugai.lg.jp/shisetsu/22034/le/index.html>